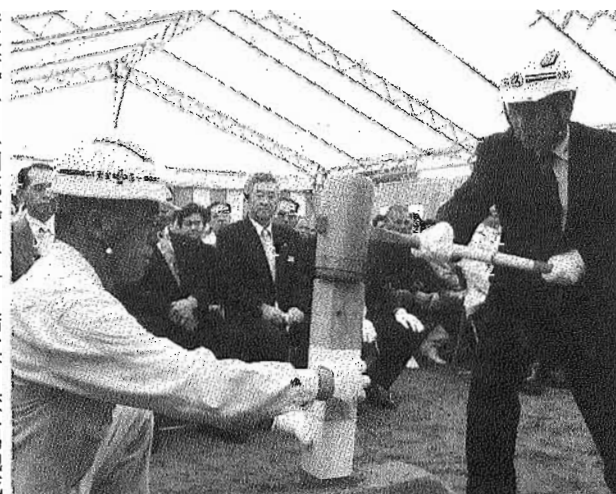


有田農産、工場新設へ起工式

地元活性化に期待



杭打ちを行う久徳社長(右)＝大崎町の現地で

農業生産法人の有田農産(有田通文社長)は2日、大崎町大崎に建設する新設工場の起工式を実施、関係者約80人が参列した。

安全施工と早期完成を祈願した。

施工は、久徳建設(株)が担当。建設費は約1億5000万円、工期は約1年と見込まれている。新設工場は、機械設備はナラサキ産業(株)が提供し、設計は久徳建設(株)が担当。投資予定額は約1億5000万円、工期は約1年と見込まれている。新設工場は、機械設備はナラサキ産業(株)が提供し、設計は久徳建設(株)が担当。投資予定額は約1億5000万円、工期は約1年と見込まれている。

は、白橋局長、東町長、鮫島春男大崎町議会副議長、森山裕衆議院議員らが「地元活性化に期待」を込めて、起工式に参列した。久徳建設(株)の久徳社長は、起工式で「安全施工と早期完成を祈願した」と述べた。

有田農産は、大根を主体とした露地野菜経営で、平成13年に法人化し事業を拡大、6月24日に大崎町と新設工場の立地協定を結んでいる。施設概要は、敷地面積2万4626㎡に農産物集出荷施設と処理加工施設(S造平屋建て2902㎡)を建設。雇用は50人程度で、年間約8億6000万円(初年度)の生産額を見込んでいる。

理想科学工業(株)主催の理想科学工業展示会「RISO Printing Evolution Fair」が2日、鹿児島市のマリナパレスかこしまであった。会場には、最新のデジタル印刷機などが展示されている。来場者は、その優れた機能性や経済性に感心を示した。写真：会場には、高い操作性でコスト削減を図れる「ORPHIS X」シリーズの最新機種「X7200」などが展示されている。また、デジタル印刷機に関する紹介や、新しいソリューションの提案もあった。同展示会は、きょう3日(午前10時～午後5時)まで行われる。

「ORPHIS X」シリーズの最新機種「X7200」などを展示。また、デジタル印刷機に関する紹介や、新しいソリューションの提案もあった。同展示会は、きょう3日(午前10時～午後5時)まで行われる。

「ORPHIS X」シリーズの最新機種「X7200」などを展示。また、デジタル印刷機に関する紹介や、新しいソリューションの提案もあった。同展示会は、きょう3日(午前10時～午後5時)まで行われる。

また、県道沿いに同社が設置・管理している花いっぱい運動の花壇周辺もきれいに手入れを行った。古田陽介取締役は「心配された雨も降らず、作業も順調に進めることができた。これからは美化活動を積極的に行っていきたい」と抱負を語った。

今給黎建設グループ安全大会

妥協なく対策徹底

(株)今給黎建設(今給黎政幸社長、枕崎市)とグループ会社による21年度安全大会が1日、同社大会議室で行われた。社員や協力会社が参加し、安全管理の徹底と1年間の無事故無災害を誓った。冒頭、今給黎社長が「厳しい社会情勢の中、無事に今日を迎えられたのも、社員をはじめ協力会社の皆さんの力添えがあったことと深く感謝している。先行き不透明な景況ではあるが、コミュニケーションを大切に、最後に、前村俊輝専務



各種表彰も行われた大会＝枕崎市の同社で

社員が安全で円滑に仕事ができる環境をつくる。と決意を述べた。続いて、枕崎警察署の牟田義信交通課長が改正道路交通法などについて説明。安全標語表彰や標語の唱和、前期目標の反省および今期個人目標を発表した後、永江信彦専務が「皆さんのおかげで、800日以上無事故無災害を更新している。妥協することなく、しっかりと安全対策を講じてほしい」と呼び掛けた。

理想科学工業(株)主催の理想科学工業展示会「RISO Printing Evolution Fair」が2日、鹿児島市のマリナパレスかこしまであった。会場には、最新のデジタル印刷機などが展示されている。来場者は、その優れた機能性や経済性に感心を示した。写真：会場には、高い操作性でコスト削減を図れる「ORPHIS X」シリーズの最新機種「X7200」などが展示されている。また、デジタル印刷機に関する紹介や、新しいソリューションの提案もあった。同展示会は、きょう3日(午前10時～午後5時)まで行われる。

理想科学工業(株)主催の理想科学工業展示会「RISO Printing Evolution Fair」が2日、鹿児島市のマリナパレスかこしまであった。会場には、最新のデジタル印刷機などが展示されている。来場者は、その優れた機能性や経済性に感心を示した。写真：会場には、高い操作性でコスト削減を図れる「ORPHIS X」シリーズの最新機種「X7200」などが展示されている。また、デジタル印刷機に関する紹介や、新しいソリューションの提案もあった。同展示会は、きょう3日(午前10時～午後5時)まで行われる。

理想科学工業(株)主催の理想科学工業展示会「RISO Printing Evolution Fair」が2日、鹿児島市のマリナパレスかこしまであった。会場には、最新のデジタル印刷機などが展示されている。来場者は、その優れた機能性や経済性に感心を示した。写真：会場には、高い操作性でコスト削減を図れる「ORPHIS X」シリーズの最新機種「X7200」などが展示されている。また、デジタル印刷機に関する紹介や、新しいソリューションの提案もあった。同展示会は、きょう3日(午前10時～午後5時)まで行われる。

理想科学工業(株)主催の理想科学工業展示会「RISO Printing Evolution Fair」が2日、鹿児島市のマリナパレスかこしまであった。会場には、最新のデジタル印刷機などが展示されている。来場者は、その優れた機能性や経済性に感心を示した。写真：会場には、高い操作性でコスト削減を図れる「ORPHIS X」シリーズの最新機種「X7200」などが展示されている。また、デジタル印刷機に関する紹介や、新しいソリューションの提案もあった。同展示会は、きょう3日(午前10時～午後5時)まで行われる。

理想科学工業(株)主催の理想科学工業展示会「RISO Printing Evolution Fair」が2日、鹿児島市のマリナパレスかこしまであった。会場には、最新のデジタル印刷機などが展示されている。来場者は、その優れた機能性や経済性に感心を示した。写真：会場には、高い操作性でコスト削減を図れる「ORPHIS X」シリーズの最新機種「X7200」などが展示されている。また、デジタル印刷機に関する紹介や、新しいソリューションの提案もあった。同展示会は、きょう3日(午前10時～午後5時)まで行われる。

理想科学工業(株)主催の理想科学工業展示会「RISO Printing Evolution Fair」が2日、鹿児島市のマリナパレスかこしまであった。会場には、最新のデジタル印刷機などが展示されている。来場者は、その優れた機能性や経済性に感心を示した。写真：会場には、高い操作性でコスト削減を図れる「ORPHIS X」シリーズの最新機種「X7200」などが展示されている。また、デジタル印刷機に関する紹介や、新しいソリューションの提案もあった。同展示会は、きょう3日(午前10時～午後5時)まで行われる。

理想科学工業(株)主催の理想科学工業展示会「RISO Printing Evolution Fair」が2日、鹿児島市のマリナパレスかこしまであった。会場には、最新のデジタル印刷機などが展示されている。来場者は、その優れた機能性や経済性に感心を示した。写真：会場には、高い操作性でコスト削減を図れる「ORPHIS X」シリーズの最新機種「X7200」などが展示されている。また、デジタル印刷機に関する紹介や、新しいソリューションの提案もあった。同展示会は、きょう3日(午前10時～午後5時)まで行われる。

白川田工務店が安全講習会

心肺蘇生法など学ぶ

(株)白川田工務店(白川田廣八社長、さつま町)は6月30日、同町の宮之城建設会館で安全衛生推進講習会を開催。社員や協力業者など約50人が参加して心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方、不安全行動などについて理解を深めた。写真：講習会では、心肺蘇生法やAEDの使い方について、講師から説明を受けた。写真：講習会では、心肺蘇生法やAEDの使い方について、講師から説明を受けた。

講習会では、心肺蘇生法やAEDの使い方について、講師から説明を受けた。写真：講習会では、心肺蘇生法やAEDの使い方について、講師から説明を受けた。

講習会では、心肺蘇生法やAEDの使い方について、講師から説明を受けた。写真：講習会では、心肺蘇生法やAEDの使い方について、講師から説明を受けた。

講習会では、心肺蘇生法やAEDの使い方について、講師から説明を受けた。写真：講習会では、心肺蘇生法やAEDの使い方について、講師から説明を受けた。

講習会では、心肺蘇生法やAEDの使い方について、講師から説明を受けた。写真：講習会では、心肺蘇生法やAEDの使い方について、講師から説明を受けた。

地域貢献活動

ウナギ30kgを放流

(株)二渡建設(山下文人社長、さつま町)は6月24日、同町山崎の久富木川に架かる東橋下の右岸河川敷で山崎小学校の児童らと一緒にウナギ約30kgを放流した＝写真＝。

今回の放流は、同社が県北薩地域振興局建設部発注の県単道路整備で東橋を通る山崎川内線の工事を請け負っていることから、建設業イメージアップ事業と地域奉仕活動および環境学習の一環として実施した。

同日は、久富木川に隣接する山崎小学校の児童9人が参加したほか、県北薩地域振興局建設部土木建築課から福田正治技術補佐と安田伸司技術主査も出席。児童らはわれ先にとバケツに分

けられた大きな成鰻を次々と放流すると、ウナギは石や岩のすき間に身を隠すなどして元気に泳ぐ姿が見られた。

様子を見守っていた川内川漁業協同組合の田沢政春組合長は「自然の生態系回復への協力に感謝している」と言葉を寄せた。



祝迫清現場代理人は「地域の方々には施工中のご協力に感謝しています。子供らに川の楽しさや自

然のすごさを知ってもらいたい機会」と語ったほか、山下社長も「子供たちにはきょうのウナギ放流や今ある景色をいつまでも覚えてほしい」と語った。

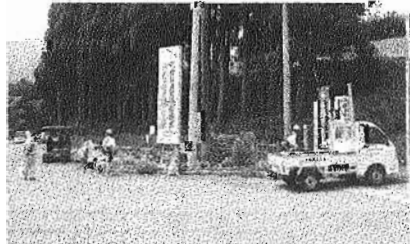
～ 浜畑組 ～

町道美化に貢献

(株)浜畑組(古田義富社長、長島町)は6月27日、同町の川床コミュニティセンターで開かれた安全大会の終了後、社員を総動員して町道の草払いや空き缶拾いなどの清掃奉仕活動を実施した＝写真＝。

作業は午後から行われ、会社近くの町道の山門野から加世堂までの約1km区間と県道葛輪瀬戸線の加世堂バス停から黒之瀬戸大橋ま

での約5km区間を清掃した。作業箇所はカーブも多く、生い茂る雑草で見通しも悪い場所。通行車両に清掃中であることを知らせるため、軽トラックにノボリ旗を掲げ、誘導員を配置するなど安全面に配慮して行われた。



また、県道沿いに同社が設置・管理している花いっぱい運動の花壇周辺もきれいに手入れを行った。古田陽介取締役は「心配された雨も降らず、作業も順調に進めることができた。これからは美化活動を積極的に行っていきたい」と抱負を語った。